実施 平成29年度

【事務事業事後評価表の見方】 事務事業事後評価表

	≪;	基本	7	執	₹≫
--	----	----	---	---	----

<i>《坐午旧刊》</i>						
事務事業の名称 【1】	所管課 [2] 実施している部署と評 評価者(担当者) 価者です。					
総合計画での位置付け	基本目標(章) 事務事業が市の総合計画の施策体系のどこに位置付けられているかを表しています。ま 主要施策(節) た、施策区分まで位置付けられている事務事業は、市民意識調査による市民の施策区分に対する重要度・満足度の調査結果に基づいて[A]~[D]にチェックが入ります。施策区分が重点施策の場合は右の[4]欄にチェックが入ります。 (市民意識調査結果) [[[A] 重点改善領域 [[B] 重点維持領域 [[C] 観察領域 [D] 維持領域	(4) á				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約 □ 新市建設計画 【 年度予定 : 金額 千円】					
事業区分 [6]	■ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
会計区分 [7]	事務事業の会計区分です。 企業会計【 】 款 項 目 細目					
<u>《事務事業の目的》</u>						
事務事業の実施背景 (どのような問題又は ニーズがあるのか) [8]	事務事業の実施が必要となった社会的背景、現状の問題 点、ニーズなどを記載しています。					
対象(誰、何に対して) [9]	事務事業を実施することで効果を及ぼそうとしている人や 団体、物などの対象を記載しています。					

《事務事業の概要》

[10]

意図(どのような状態に

したいのか)

事業期間 【11】	事務事業を実施する期間です。建物建設など事業の実施期間が限定されているものは期間限定複数年度に該当します。	□ 期間限定複数年度 【 年度~ 年度まで】
事業主体 [12]	事務事業を実施している主体にチェックが入ります。	□その他【 】
実施方法 [13]	事務事業の実施方法です。「その他」には指定管理者制度など	どが該当します。
事務事業の具体的内容 [14]	事務事業の具体的な内容や手法を記載しています。	事務事業を構成する細事業 [15] 事務事業を構成する細事業です。重要性が高い順に記載しており、6つ以上ある場合は上位5つを記載しています。 御事業とは予算事業を構成する最小単位の事業や業務のことで、細事業

事務事業を実施することで、上記の対象をどのようにした

いのか、最終的に目指す状態・成果を記載しています。

《事務事業実施に係るコスト》

《予切予朱天旭门》			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度		全体計画	
	事	国庫支出金	%	事業費と正職員の人件費の合計額を事務事業実施に要した費用(投					
	業	県支出金	%		サ来資と正職員の人件質の合計報で手術手来失応に安した資用(校 入コスト)として記載しています。				
	費	起債	%	う う ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					
投	千	受益者負担		→果賃を別源ことに配取しています。 国庫支出金・県支出金は国や県からの補助金で、起債は事業を行う					
入	円	その他		際の借入金のこと	際の借入金のことです。 過去3年度の決算額と当年度の予算額を記載しており、【11】の事業				
	$\overline{}$	一般財源		過去3年度の決算					
		[16] 小 計	•	期間で「期間限定複数年度」に該当するものは、「全体計画」欄に事業			0	0	
[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)			期間の全体事業費額を記載しています。						
	職人職員人工数			正職員の人工(に	「 んく)数をもとに正職		1.1丰す		
員 件 職員の年間平均給与額(千円)			正職員の人工(にんく)数をもとに正職員の人件費を算出しています。 人工数とは事務事業の実施に要した労働量のことで、1人が1年間勤 務した労働量を「1.00」に設定しています。			5,871			
の費 [17] 小 計						0			
合 計			0	0	0		0		

≪事務事業の手段と活動指標≫ [18] 事務事業を構成する細事業 手段(細事業の具体的内容) 活動指標 単位 H26実績 H27実績 H28実績 H29計画 1 2 予算や人員などの行政資源を投入して、どれだけの活動を 行ったのか、どれだけの行政サービスを提供したのかを細事 3 業ごとに指標を設定して記載しています。過去3年度の実績値 と当年度の計画値を記載しています。 (4) **(5**) **≪事務事業の成果≫**[19] H27目標 H28目標 H26目標 成果指標(意図の数値化) 計算方法又は説明 単位 H26実績 H27実績 H28実績 事務事業を実施した結果、対象がどのような影響や成果をど れだけ受けたかを指標を設定して記載しています。過去3年度 の目標値と実績値、当年度の目標値を記載しています。 2 《事務事業の評価》 評価項目 評価の視点 評価 評価の説明 市が関与して実施すべきか、社会的背景 | 問題あり 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等 実施主体の妥当性 【20】 の変化により役割が薄れていないか、など 妥 他の団体では実施できない事業か。 □ 問題なし 事務事業の妥当性についての評価を行っ 当 □ 問題あり 税金を使って達成する目的か。また、市民ニ ています。 性 目的の妥当性 ズの低下により役割が薄れていないか。 □ 問題なし 各評価欄において、「問題あり」や「余地あ □ 影響あり 事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる (判定) り」などの場合は、理由や改善策を記載し 廃止・休止の影響 ています。 等の影響があるか。 □ 影響なし □達成 目標の達成度 成果指標の目標値は達成できたか。 □ 未達成 効 目標は達成できたか、手段を見直すことな □ 余地あり 性 どによってさらに成果を向上させる余地は 成果がもつと上がる余地はないか。 成果向上の余地] 余地なし ないか、など事務事業の有効性について 〈判定〉 □ 十分 の評価を行っています。 上位施策への貢献度 <u>【25】</u> 上位施策の目的達成に貢献しているか。 □ 不十分 余地あり コストの低減について、これ以上検討の余地 コスト低減の余地 はないか。] 余地なし 劾 □ 余地あり 成果を下げずにコスト削減ができないか、 民間委託など民間活力の活用について、これ 婡 民間の活用の余地 民間委託等により民間のノウハウを活用 以上検討の余地はないか。 □ 余地なし 性 できないか、改善できる手続きはないか、 □ 余地あり 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプ など事務事業の効率性についての評価を 執行方法改善の余地 ロセスはないか。 □ 余地なし 行っています。 □ 余地あり 類似する他の事務事業との統合について、こ 〈判定〉 事業統合の余地 [29] れ以上検討の余地はないか。 □ 余地なし 受益者負担を求めることはできないか、負 受益者負担について、これ以上検討の余地は | 余地あり 公平性 受益者負担の余地 【30】 担の水準は妥当か、など事務事業の公平 ないか。また、対象、負担額等は適切か。 □ 余地なし 性についての評価を行っています。 《今後の方向性と改善》 □ 拡充して継続 □ 縮小して継続 次評価時点における □ 現状のまま継続 □ 執行方法の改善 今後の方向性 [31] □ 休止・廃止 上記の活動実績、成果の達成度、各項目の評価等を踏まえて、所管課とし 判断理由及び見直し・改 て事務事業の今後の方向性を選択し、判断理由や事務事業の見直し、改善 善の具体的内容 の具体的内容を記載しています。 昨年度の評価結果を踏まえ、どのような見直しや改善が行われたかを記載 前回の評価結果に対する しています。 見直し・改善状況 [32]

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 事務事業に対する評価責任者(課長等)の所見を記載しています。